

リスク共生社会創造センター第**3**回シンポジウム

気候変動・地球温暖化への取り組みとエネルギーのありかた

— 国際交渉と原子力発電の位置づけを考える —

横浜国立大学では、安心・安全の科学研究教育センターと共同研究推進センターを統合し、リスク共生社会創造センターを設置いたしました。本学が提唱するリスク共生の概念に基づき、安心で活力のある社会の創造を目指し、社会実装型の研究と教育を推進いたします。第3回となる今回のシンポジウムでは、地球温暖化への取り組み、特にCOP21の成果をどのように評価するのか、また温室効果ガス排出削減に大きな意味を有する原子力発電の位置づけをどう捉えるのかについて、講演とパネルディスカッションを企画しました。どなたでも参加できますのでお繰り合わせの上、気軽にご参加ください。

日時 : 2015. **12月24日** **木**
13:00 ~ 15:00

場所 : 横浜情報文化センター **情文ホール**
(住所: 横浜市中区日本大通11番地)

- みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口 徒歩0分
- JR「関内駅」南口、横浜市営地下鉄「関内駅」1番出口 徒歩10分

参加費 : **無料**

参加者募集: **200名**

申し込み方法

①氏名 ②所属 ③電話番号 ④E-mail

を記載の上、「**第3回シンポジウム参加申込**」と題記してE-mailで risk.center@ynu.ac.jp 宛にお申し込みください。

主催 : 横浜国立大学リスク共生社会創造センター
協賛 : 一般財団法人 日本環境衛生センター
安全工学会、一般社団法人 日本高圧力技術協会、
NPO法人 YUVEC

シンポジウム次第

13:00 **ご挨拶**

リスク共生社会創造センター
センター長 野口 和彦

13:05 **基調講演**

「地球規模の気候変動への取り組み及び
原子力発電のこれから」

横浜国立大学 リスク共生社会創造センター 客員教授
一般財団法人 日本環境衛生センター 理事長
南川 秀樹

13:45~15:00 **パネルディスカッション**

地球温暖化対策とエネルギー、また福島における
放射性物質による環境汚染からの回復の道と
これからの原発を考える

- ①地球温暖化問題の基本的な理解
- ②リオからCOP21合意までの国際交渉の道筋と課題
- ③2030年以降に向けた日本の取り組み
- ④低炭素社会づくりの方途
- ⑤エネルギーからの対策と原発の位置づけ
- ⑥福島原発事故への理解とその後の対応
- ⑦原発、再生エネルギーの抱える課題—廃棄物、使用済み燃料の処理
- ⑧日本にとっての温暖化対策の持つ意味
- ⑨質疑応答
- ⑩総括

 **南川 秀樹** 横浜国立大学リスク共生社会創造センター 客員教授
一般財団法人 日本環境衛生センター 理事長

 **奥 真美** 首都大学東京 都市教養学部都市政策コース 教授

 **竹内 純子** NPO法人国際環境経済研究所 理事・主任研究員

お問い合わせ

横浜国立大学 リスク共生社会創造センター
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 FAX.045-339-4294

 **045-339-3772**  risk.center@ynu.ac.jp

 <http://www.anshin.ynu.ac.jp>